

理事長	法人本部長	係長	担当者

議 事 録

日 付	平成 28 年 9 月 29 日 (木) (10 : 00～11 : 00)		ページ 1／2
議 題		開催場所	会議室
会 議 名	寶樹苑いずみ 平成 28 年度 第 3 回運営推進会議		
出席者名	本郷 克美 様 (上谷刈連合町内会会長 上谷刈狼河原町内会会長) 佐藤 慎一 様 (御家族代表) 板橋 純子 様 (虹の丘地域包括支援センター) 法人・施設 : 中川 俊彦 (施設長)・安積 保 (事業推進主任) 欠席 : 萱場 久美 様 (評議員) 萱場 久悦 様 (泉南地区民生委員児童委員) 計 6 名 記入者 安積		
内 容	【運営状況報告】 ●別紙参照 ●事故・ヒヤリハットについて。 ・ヒヤリハット報告が出にくくなっている。ヒヤリハット報告で気付きを増やし傾向を把握する事で事故を未然に防げるよう努める。昨年の 10 月の教訓を忘れずにやっていきたい。 [中川] ●ショートを利用できる方はどういう方か？ [佐藤様] ・要支援の方も使えるが介護度によって利用できる日数も違ってくる。土日祝日が混む傾向があり、それ以外をどう埋め、ショートステイの稼動をどのように上げていくかが課題。 [中川] ●負担限度額の影響はあるか？[板橋様] ・それもある。[中川] ・ショートステイが空いているという話をよく聞く。負担限度額によって制限をかけて利用している事で影響が出ているのではないか。[板橋様] ・以前は長期間ショートステイを利用し、特養への入所という形が一般的であったが、最近では短期間の待機で特養へ入所する傾向となっている。[中川] ●ショート利用は最大何日か？[佐藤様] 最大 30 日利用で、1 日帰宅する。自費負担で連続利用の方もいる。寶樹苑いずみのショートステイ居室は 10 室。一人の存在が大きいので、稼動率に関しては安定させられるよう努めていきたい。[中川]		
添付資料：平成 28 年度 第 3 回運営推進会議資料			

●職員体制について

全体としては大きな離職もなく安定している。御利用者の状態の変化等で食事介助者が増えている。職員状況は収支と照らし合わせるとギリギリのところをやっている、既存の職員でうまく回しながら対応をしている。[中川]

- ・介護職員の配置数はどのくらいか[佐藤様]

- ・1 ユニット 4～5 名程度である。そこにパート職員を加えた形である。全体 29 名に対し、20 名くらい。(3 : 1 の基準配置の場合は 10 名程度となる) [中川]

●ユニットケアの個別対応は難しい。1 名の対応に入ればそれ以外の利用者に関しては空白の時間となる。やりくりが難しい。ユニットケアの強みをどのようにすれば活かす事ができるのか…。[佐藤様]

- ・集団ケアではないので、御利用者の生活リズムを把握した上で、必要な時にお世話をしていくというサイクルを作っていくのが理想的かと思う。寶樹苑いずみに於いても各ユニットのご利用者によっても違いがあり、起床時間、食事時間等バラバラなユニットも存在する。[中川]

●地域貢献事業に関しては停滞している。包括からはよい話はいただける一方で、一人で参加ということに関しては垣根が高い様子。[中川]

●防犯体制・ご利用者安全確保の改善点・消防査察結果を踏まえての改善点について

- ・別紙参照。

- ・今後は防犯カメラ等を検討。

- ・仙台市の指導もあり風水害のマニュアルについても作る予定。
避難所ではなく、安全な階へ避難するという形の内容へ。

●防災訓練について。

- ・本郷会長に地域の方に防災訓練への参加についての声掛けをお願いする。

添付資料